

学会 報告

第18回日本医療マネジメント学会 学術総会

常任理事 医療安全・医事法制部長 水谷 匡宏

標記学会が、平成28年4月22日から2日間にわたり福岡国際会議場を主会場に、約3,800名の参加者を得て行われた。

一週間前の熊本大震災の影響で開催が危ぶまれたなか、主催者を代表して飯塚病院名誉院長田中二郎会長より、熊本県「平成28年熊本地震義援金」として、大会期間中に31万円の募金とチャリティの開催を執り行ったとの報告がなされた。

今回のメインテーマは「明るい病院改革～改善とイノベーションで切り拓く明日の最適医療～」であった。一般演題数は1,121題、講演、シンポジウム、セミナー数は28題にのぼった。

特に、大会2日目に行われたシンポジウム「医療事故調査制度」では、2時間にわたり、それぞれの専門家（厚労省、支援センター、大学病院、弁護士など）からこの制度の概要、検討課題、運用方法、さらに法的解釈についての発表がなされた。その後、演者全員参加による総合討論が行われた。その中で、

この会の座長を務めた医療安全の第一人者である長尾能雅名古屋大学医療の質・安全管理部教授からは、「予期せぬ死亡」そのものがその定義、解釈、医師法第21条との関係について、一つのシンポジウムを組めるくらいの難しい問題を内包しており、これらがクリアカットにされないようでは、今後この制度の出口を塞ぐことに成りかねず、一般臨床医にまで制度が普及されるまでには長い期間を要するだろうとの見解が示された。いずれにせよ、全国的に支援センターへの事故報告件数の伸び悩みや医師法第21条、刑法第211条などの関係法案との調整など難問が山積しており、6月での見直しについては不透明な状態が続いているのが現状である。

次回は、平成29年7月7日から2日間にわたり、仙台で開催される予定である。



北海道医師会は、 北海道に在住するすべての医師が利用できる 女性医師等支援事業を 推進しています。

北海道医師会は、医師の育児支援や仕事と家庭の両立を支援するために現役の先輩医師による相談窓口を開設しています。この窓口は、北海道に在住するすべての医師が利用できます。詳しくは、下記専用ホームページをご覧ください。

●相談窓口 ●育児支援 ●復職研修支援 ●介護支援

北海道医師会 女性医師等支援相談窓口

●詳しくはこちらをご覧ください 「女性医師等支援相談窓口」専用ホームページ <http://www.hokkaido.med.or.jp/josei-dr-shien/>
●ご相談はこちらへ ☎ 0120-112-500 FAX 011-231-7272 E-mail josei-dr-shien@m.dou.jp
北海道医師会 〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目 <http://www.hokkaido.med.or.jp/>

男性医師の
アクセス歓迎

Doctor
Support

